ＮＩＥワークシート／小学校高学年～高校／理科・家庭科・社会・総合

名前【　　】

神戸新聞 2020年11月02日 月曜日 面名 夕二社 夕４ 6ページ

「植物肉」㋐　駆使で本物に迫る

原料の㋑　栽培を最適化

㋒保護、㋓志向で市場拡大

環境に優しく、より健康的な「植物肉」が脚光を浴び始めた。人工知能（ＡＩ）などの先端技術を駆使して生産することで、本物の肉に近い風味を楽しめるようになったためだ。家畜を育てる時にかかる水資源などを減らせるので、環境保全への期待も高い。将来的には肉市場の4分の1を占めるとの予測も飛び出した。

「こんなに反響を集めるとは」―。新型コロナウイルス流行で逆風が吹く外食業界で、植物由来の肉を使った人気商品が相次いでいる。ハンバーガーチェーン「フレッシュネスバーガー」の「ザ・グッドバーガー」（480円）もその一つだ。

パティにはひき肉の代わりに大豆由来の植物肉を使った。8月に首都圏の一部店舗で売り出すと「健康志向の女性客の人気が高く、想定の2倍近く売れた」（逆井里奈商品開発マネジャー）。10月から全国販売に踏み切った。

フレッシュネスの新商品は、熊本県のベンチャー企業ＤＡＩＺ（ダイズ）がパティ素材の生産を担当した。同社の強みはＡＩを活用したオーダーメードの大豆栽培だ。

顧客の要望に応じ、酸素や二酸化炭素、温度、水分など数百万の組み合わせから最適な発芽条件をＡＩが分析。落合孝次最高技術責任者（ＣＴＯ）は「外食企業など顧客の求める味や食感に細かく調整できる」と自信を示した。

消費者の意識変化も、植物肉の市場拡大を後押ししている。家畜の飼育は膨大な水資源や土地を必要とするため「環境保護対策として植物肉が注目を集めるようになった」（落合氏）という。世界的な人口増加を背景に、将来の食料危機を懸念する声も日増しに強まっている。

動物愛護や健康志向の広がりも相まって、植物肉市場は急速に拡大している。米コンサルティング会社Ａ・Ｔ・カーニーは、２０４０年には植物肉が肉市場の25％を占めると予測する。

成長市場を狙って植物肉関連のベンチャー企業が次々と誕生。日本ハムや伊藤ハムなど大手食品メーカーも開発を強化している。動物を殺さず、細胞から育てる「培養肉」の研究も本格化した。日本でも「脱ミート」が進むか注目される。

フレッシュネスバーガーが全国販売している「ザ・グッドバーガー」＝10月、東京都目黒区

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①記事から見出しを考え言葉をいれましょう。

㋐□□駆使　㋑□□栽培　㋒□□保護　㋓□□志向

②熊本県のベンチャー企業のオーダーメイドの大豆栽培の説明に言葉を書き込みましょう。

顧客の要望に応じ、□や□、□、□

など数百万の組み合わせから最適な発芽条件をＡＩが分析する。

外食企業など顧客の求める□や□に細かく調整できる。

③米コンサルティング会社は、２０４０年には植物肉が肉市場の何％を占めると予測していますか。□％

④これからの食料生産について考えたことを書きましょう。